

■特別シンポジウム

のソフト界面を活かりを分析化学 (9/14/AP(2))

オーガナイザー:前田瑞夫(理研),吉本敬太郎(東大院総合文化)

- 1)非特異吸着をゼロにするソフト界面(東大院工)高井まどか 2)分子認識の選択性を高めるソフト界面設計(東大院総合文化
- 3)ソフト界面の重的特性を活かした分析化学(慶大薬)金澤秀子 4)ソフト界面の特性を解明する先端計測(物材機構)野口秀典

②工業分析最前線 ~ 分析性性的数据の要差 ! ~

·筑波大跨数理物質) 吉本敬太郎·長崎幸夫

(9/15/FHIII)

オーガナイザー: 野呂純二(日産アーク),火原彰秀(東大)

開催挨拶 「工業分析最前線」シンポジウム開催にあたって (ブリヂストン中研)加藤信子

- 1)鉄鋼業における分析・解析技術~NMRを中心に~ (新日鐵先端研)金橋康二
- 2)非鉄工業製品における環境負荷物質の管理 (古河雷丁環境工之研)久留須一彦
- 3)電子部品業界におけるLA-IOP-MSの活用 (TDK)大石昌弘
- 4)自動車関連材料におけるラマン分析の可能性 (豊田中研)加藤雄一
- 5)水処理装置における分析技術 (オルガノ)梅香明子

3NMRC LZ JE FLYMING ACT 新沧东搜黑分析の可能准

オーガナイザー: 齋藤剛(産総研),加藤尚志(産総研)

- 1)定量NMRによる標準物質の品質向上 (和光純薬試薬研)坂本君江
- 2)定量分析のためのNMR技術 (JEOL RESONANCE)末松孝子
- 3)定量NMRの食品添加物分析への応用 (国立衛研)大槻 崇
- 4)定量NMRによる界面活性剤の一斉迅速分析 (花王解析研)堀之内嵩暁
- 5) 定量NMRの多核種への応用 19Fへのアプローチ (産総研)山崎太一

のきかりアパスシンがありかる 企學で活躍する分析化学者の #·今·ELTIPEO

オーガナイザー: 由井宏治(東京理科大),野呂純二(日産アーク)

- 1)新し、装置が教えて〈れる新し、世界に魅せられて (JEOL)寺本華奈江
- 2)企業の研究開発における分析化学の重要性 (日産化学工業)松原功達
- 3)企業における分析技術の役割 夢と期待 (東芝)竹中みゆき 4)分析化学と犯罪捜査の掛け橋 (科警研)鈴木康弘
- 5)企業分析室における技術伝承と組織力の強化
- (別ナノテク)川田 哲
- 6)食の安全における分析化学最前線 (Aschiビール食の安全研)望月直樹

国展信用医院会支表及条据化学 (9/164PHH)

オーガナイザー: 石濱 泰(京都大)、金澤秀子(慶應義塾大)

- 1)リン酸化プロテオーム変動解析とがん分子標的治療 (京大院薬)石濱泰
- 2)メタボローム解析による新規バイオマーカー探索 (慶大先端生命研)曽我朋義
- 3)光機能性プローブによるがんの検出・診断・治療 (東大院医)浦野泰昭
- 4)神経外傷に対する多角的再生戦略 (慶大医)岡野ジェイムス洋尚
- 5)難台性造血器腫瘍台療の現状と問題点 (慶大院薬)服部 豊
- 6)細胞シートによる再生医療と幹細胞分子マーカー (東女医大先端生命研)大和雅之
- 7)終括 最先端医療を支える分析化学(慶大院薬)金澤秀子

6学市と生命をつなぐ分析化学 一切がはで学術を深め **型的行**交生命经723—

(9/164Fiff)

オーガナイザー: 小林憲正(横浜国大)

- 1)はやぶさとはやぶさ2:小惑星のかけらから太陽系と生命の 起源を探る (阪大院理)土山 明
- 2)生命の素は、隕石によって運ばれてきた:最先端の宇宙有機 物分析手法 (阪大院理)藪田ひかる
- 3)何を見つければ生命といえるか 火星生命の検出をめざす 分析化学 - (東薬大生命科学)山岸明彦
- 4)望遠鏡で探す太陽系外生命(国立天文台) 田村元秀

7克普多沙林沙拉 12号,发表了一个 ~ 四学情望得为那~」

(9/13/4P(2))

オーガナイザー: 大橋朗(茨城大),加藤尚志(産総研)

- 1)北陸から世界に発信する新しい元素分析手法 (マイクロエミッション)山本 保
- 2)連携による大気圧走査電子顕微鏡の開発と製品化 (日本電子経営戦略室)須賀三雄
- 3)大学発ベンチャーがものづくりを行う意義 (MSI. TOKYO)三木伸一
- 4)九州大学との産学連携による「味のものさしづくりの世界標準化」 (インテリジェントセンサーテクノロジー)池崎秀和

連絡先

日本分析化学会関東支部第60年会実行委員会 e-Mail: 60nenkai@sv.jsac.jp

http://www.jsac.or.jp/~kanto/60nenkai/ index.html